

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）札幌車両基地
壁面デザイン検討会（第3回）
議 事 概 要

令和7年3月6日（木）13:30～15:30
於：鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局
6階第1・2・3会議室

○ オープンハウスの実施結果について

1月31日および2月1日に実施したオープンハウスの状況およびアンケートの集計結果に関する事務局から報告（別添）に対して、委員より以下の意見があった。

- ・ アンケートのQ3～6で概ね8割程度の方から「良い」または「やや良い」の回答を頂いた。オープンハウスで示したデザイン案をベースに、一部提案や意見を取り入れて最終案として取りまとめて良いのではないか。
- ・ アンケート結果に対して重回帰モデルによる分析を行った。アンケートで尋ねた「デザインの方向性」「壁面のグラデーション」「壁面の色」の3つのデザイン要素のうち「壁面のグラデーション」が全体評価に対して、最も高い影響力を有することがわかった。また3項目に対する満足度はいずれも高いが「壁面の色」は他2要素と比較すると若干低かったものの、必ずしも改善が必要ではないという結果であった。

○ オープンハウスでの意見を踏まえたデザイン案について

オープンハウスで頂いた意見等を踏まえ、札幌車両基地壁面のデザイン案に関する事務局からの説明に対して、委員より以下の意見があった。

- ・ 「モノトーンの色を少し明るめにする」と、「東2～3丁目線北側のグラデーション」及び「東2丁目線南側道路交差部のグラデーション」を札幌駅に近づくにつれてフェードアウトすることなどを最終デザインに取り入れる提案は良い。
- ・ 「モノトーン以外の配色の要望」に対しては、モノトーン以外の色を一部入れる案もあり得るが、恒久的なデザインとして全体を見た場合はモノトーンが最良だと思われる。また、今回のアンケートでもモノトーンにすることに対して74.9%の方から「良い」または「やや良い」の回答を頂いていることから、壁面の色についてはモノトーンを基本とすべきではないか。
- ・ 基地内の車両を見せるための「窓の設置要望」などに対しては、札幌車両基地の運用上・安全上必要なものの以外の開口部（ガラス窓等）について、これまでの検討会の中でも、夜間の光の漏れや車両の走行・検査作業に対する防音対策、また隣接敷地の方々のプライバシー等へ配慮しつつ、東4丁目線

南側道路交差部など、可能な範囲で開口部を設けるように検討を進めてきたため、現在の案が妥当ではないか。

- ・ プロジェクションマッピングやライトアップ等の壁面の活用のアイデアについては魅力的である。一方で、都市の景観への配慮、コスト等を含めた検討も必要と考えられる。その体制整備と併せて今後検討すべきではないか。

○ 今後のスケジュール

本日の検討会での助言・意見を反映し、令和6年度内に最終デザインを公表する予定。